

第1回記念シンポジウム

「防ぐ」から「共存する」へ。

医学の知見を、現場の「命を守るアクション」に。

— SYMPOSIUM THEME — 開催テーマ —

近年の酷暑環境と正しく共存するには

— CONCEPT — 開催趣旨 —

近年、「災害級」と称される猛暑が日常化する中、熱中症対策は科学的根拠に基づいた「環境との適応・共存」へとフェーズが変まりました。本シンポジウムでは、医療・救急・スポーツ医学の第一人者が集結し、教育現場・野外イベント・スポーツ指導企業の安全衛生・自治体の防災など、現場ですぐに機能する実践的な知見として社会へ発信します。

— PROGRAM & SPEAKERS — 登壇者 —

CHAIR 座長



羽鳥 裕

日本熱中症医科学機構 理事長・はとりクリニック院長
元日本医師会 常任理事

KEYNOTE 特別講演



永島 計

早稲田大学 人間科学学術院 名誉教授
バイタレート株式会社 CEO



横堀 将司

日本医科大学 大学院医学研究科
救急医学分野 教授

— 救急医学の視点



小熊 祐子

慶應義塾大学 医学部／
スポーツ医学センター 教授

— スポーツ・運動医学の視点



佐藤 真治

帝京大学 医療技術学部
スポーツ医療学科 主任教授（博士・医学）

— 運動生理学・応用健康科学の視点



大西 一平

一般社団法人 OVAL HEART JAPAN 代表理事
元神戸製鋼ラグビー部キャプテン

— スポーツ現場・社会実装の視点

— ADDITIONAL SPEAKERS — 追加登壇者 —

その他、追加登壇者はウェブサイトにて順次発表 COMING SOON

— INFORMATION — 開催概要 —

日 時 2026年7月30日（木）13:00～15:00 開場 12:30

参加費 無料（事前申込制）

会 場 関西大学 東京センター
東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー9F
（JR東京駅 日本橋口直結）

定 員 会場 100名／オンライン配信 無制限
※会場は定員に達し次第、受付終了

対 象 医療従事者・自治体担当者・教育／スポーツ関係者・企業安全衛生管理者・イベント企画者・一般市民

